

第4号

2002年5月

シェルナースNEWS

放流効果が大幅にアップ!?



シェルナース磯根資源型



種苗放流・保護システム礁の凄力!

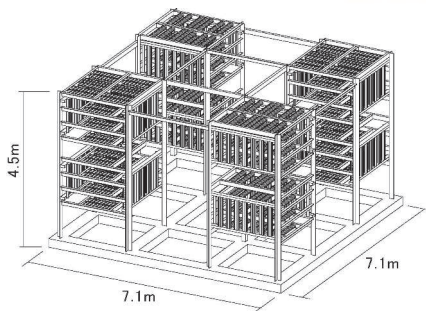


目次

- シェルナース効果調査事例
北の国から・・・
♪そ〜っとのぞいてみてごらん♪
何かすごいことになってきたぞ! 長崎!
- 種苗放流・保護システム礁
磯根資源型
魚類放流型
- 6.0型が実海域に注目されるシェルナース

海洋建設株式会社

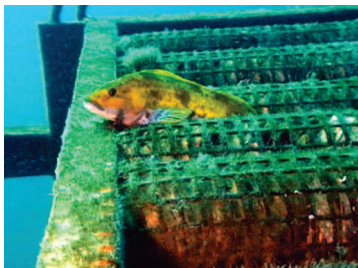
北の国から・・・ ～北海道大成町～



シェルナースもついにその生息分布？を日本の北端、北海道へと伸ばした。沈設後 2 ヶ月、この北の海で**シェルナース**はどんな魚を育てているのだろうか？

海中の映像を見てみると、やはり北の海、水が澄んでいて冷たそうだ。で、肝心のお魚さんかというと、なにやらちょっと長めの魚影が・・・**ホッケ**だ！居酒屋の常連さんである。また、**ホッケ**の親戚**アイナメ**が貝殻パイプに産卵し、必死に我が子を守っている姿には胸が熱くなるのを感じた。その他にも**イシダイ**、**ウマヅラハギ**、**クロガシラカレイ**などが確認され、今後の期待も一層高まった。1年後にはどれだけ魚が増えているか楽しみである。

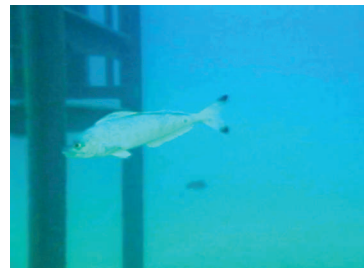
機種	シェルナース 4.5 型
設置水深	30m
調査日	平成 13 年 11 月 10 日 (2 ヶ月経過)
沈設日	平成 13 年 8 月 30 日



卵を守るアイナメ親魚



アイナメの卵



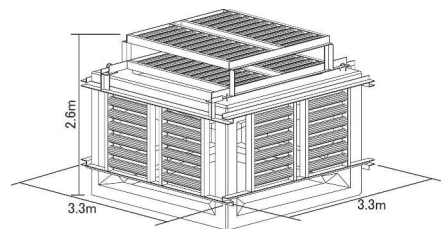
魚礁に集まるホッケ

調査実施：(株)海洋探査

♪そ～っとのぞいてみてごらん♪ ～大分県姫島村～

大分県姫島村の**シェルナース**を2年ぶりに訪れるため、私たちは真冬の海へ潜った。当日は透明度が高く、季節的にも魚介類が少ないので、**シェルナース**の外景は寂しく感じられたが、魚礁の中をそ～っとのぞいてみると・・・

大きな銀色の魚体が目の前を横切った！全長 40～50cm の大型**クロダイ**だ！魚礁内部をぐるぐると泳いでいるではないか。**クロダイ**達は潮流の速いこの海域で無駄なエネルギーを消費しないよう、**シェルナース**で暖くなるのを待っているのだろうか？また、魚礁では**メバル**幼魚も多く見られ、冬でも賑やかな**シェルナース**であった。



機種	シェルナース FP-A 型
設置水深	9m
調査日	平成 14 年 2 月 5 日 (3年2ヶ月経過)
沈設日	平成 10 年 11 月 16 日



目の前を横切るクロダイ



内部には多数のクロダイが・・・



メバル幼魚もいるぞ！

何かすごいことになってきたぞ！長崎！

～長崎県野母崎町～

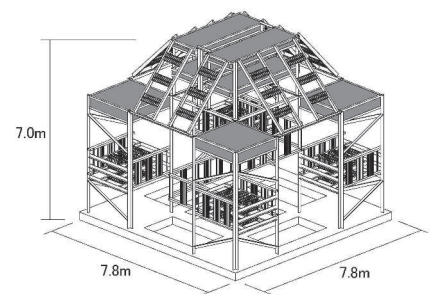
長崎といえばチャンポン、皿うどん、カステラなどを思い浮かべる人が多いだろうが、海岸線が非常に長い長崎県は、北海道（これは別格だ）を除く46都府県では日本一水産業が盛んな水産県なのである。

その水産県で最近注目されているのが「**シェルナース**」だ。前号でもお伝えしたが、長崎県野母崎町に**シェルナース**試験礁が沈設されることとなり、平成13年10月26日に沈設が行われた。

そして平成14年3月、第1回追跡調査が実施された。とは言うものの季節は3月半ば、「魚はまだ少ないだろう。しかも沈設から5ヶ月だ、寂しい調査になるかもな・・・」と思いつつ調査を開始したのだが・・・

シェルナース7.0型 「これが沈設から5ヶ月の魚礁か？何かすごいことになってきたぞ！長崎！」正直なところそんな言葉が出てくるような光景だった。**シェルナース**には**マダイ**、**クロダイ**、**イシダイ**などが集まっている。魚礁上部では**カワハギ**がウヨウヨ泳いでいる。内部には**ヨコスジフェダイ**の大群が・・・あっ、あんなところに**オオモンハタ**が・・・、あ～数えきれない！

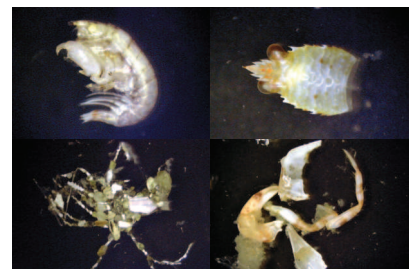
さらに漁獲調査で捕れた**カワハギ**の胃内容物を調べたところ、魚礁で確認された**エビ**・**カニ**類と同じものを食べていた。これは**シェルナース**食堂のお得意さんに間違いない。これからもごひいきに・・・



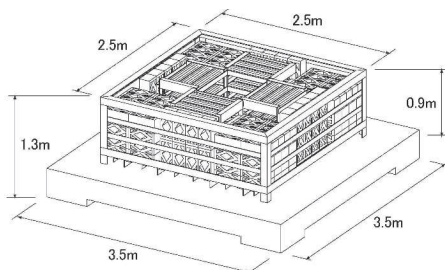
機種	シェルナース 7.0 型
設置水深	34m
沈設日	平成 13 年 10 月 26 日 (5ヶ月経過)



沈設から5ヶ月で多くの魚類が蛸集



カワハギの胃内容物



シェルナース磯根資源型 シェルナース磯根資源型では放流用ユニットを用いて**クロアワビ**稚貝を放流した。放流用ユニットを使った放流システムの試験は今回が初めてである。さて、放流1週間後に行った調査では、なんと**シェルナース**では同時に放流した天然礁の3倍以上の稚貝が滞留していた。

今後も楽しみ磯根資源型！またまた次号に続く・・・のか？

機種	シェルナース磯根資源型
設置水深	9m
沈設日	平成 13 年 10 月 26 日 (5ヶ月経過)



稚貝を付けたユニットの設置



クロアワビ稚貝

種苗放流・保護システム礁

種苗を放流しても「すぐどこかに行ってしまう」「すぐ天敵に食べられてしまう」など、せっかく育てた種苗が放流してすぐになくなってしまうのはとても残念で悲しいことです。

そんなことにならないために開発された魚礁が「種苗放流・保護システム礁」です。放流種苗に「餌場」、「隠れ場」等を供給し、造成した海域で成長させ、漁獲する。まさに海の農作業のようなもの。今回は**シェルナース磯根資源型**と**シェルナース魚類放流型**を紹介します。

シェルナース磯根資源型 長崎の事例でも紹介したように、放流用ユニットに**アワビ**などを着生させて魚礁に設置します。**アワビ**などの稚貝は魚礁や周辺の岩などを隠れ場として成長します。

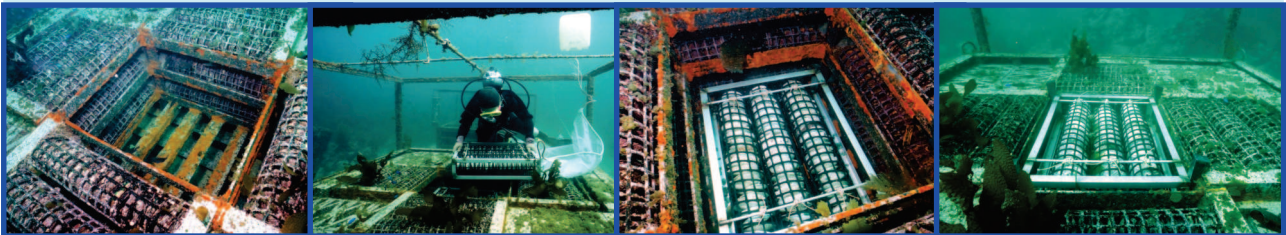
●放流前

①放流用ユニット→②放流種苗（アワビなど）→③ユニットに種苗を着生させる→④着生したクロアワビ



●放流作業

①ユニット収容空間→②ユニット設置作業→③設置されたユニット→④ユニット設置完了



シェルナース磯根資源型を使用した漁場造成イメージ

